

基幹型臨床研修病院訪問調査結果

東北厚生局管内の7基幹型臨床研修病院に対する
訪問調査結果について
(平成23年12月～平成24年1月実施)

東北厚生局健康福祉部医事課

東北厚生局管内の基幹型臨床研修病院

- 青森県； 13病院
募集定員：130名、採用者数：64名（49. 2%）
 - 岩手県； 12病院
募集定員：128名、採用者数：67名（52. 3%）
 - 秋田県； 14病院
募集定員：128名、採用者数：70名（54. 7%）
 - 宮城県； 18病院
募集定員：173名、採用者数：99名（57. 2%）
 - 山形県； 11病院
募集定員：124名、採用者数：60名（48. 4%）
 - 福島県； 16病院
募集定員：149名、採用者数：57名（38. 3%）
- 東北合計； 84病院
募集定員：832名、採用者数：417名（50. 1%）

調査対象病院

開設者

開設者	病院数
国	1
自治体	4
上記以外の 公的団体	1
医療法人	1
計	7

都道府県

都道府県	病院数
青森県	2
岩手県	1
宮城県	0
秋田県	1
山形県	2
福島県	1
合計	7

年間入院患者数（人）および 病床数（床）ごとの対象病院数

		病床数		
		<500	501<	計
年間入院患者数	<10,000	3	1	4
	10,001<	0	3	3
	計	3	4	7

調査結果①(大項目・中項目)

評価(A/B/C、a/b/c)ごとの病院数

	A	B	C	計
総合評価	0 0%	7 100%	0 0%	7

1. 臨床研修病院の指導管理体制に関する事項	a	b	c	計
1) 研修を行うのに十分な症例や研修にふさわしい環境が整備されているか	2 29%	5 71%	0 0%	7
2) 研修医の診療内容や説明について、指導医等から適切な助言・指導が行われているか	4 57%	3 43%	0 0%	7
3) 臨床研修が組織的・計画的に行われ、管理体制が適切に確立されているか	2 29%	5 71%	0 0%	7

2. 研修医の基本的診療能力に関する事項	a	b	c	計
1) 患者・家族や他の医療従事者と十分なコミュニケーションをとり、良好な関係を築いているか	4 57%	3 43%	0 0%	7
2) 患者の問題を把握し、検査や治療の計画の全体像を把握して診療にあたり、臨床上の疑問を解決するための自己学習の習慣が身についているか	7 100%	0 0%	0 0%	7

調査結果②(小項目) 評価(○/△/×)ごとの病院数

評価項目	○	△	×
------	---	---	---

1. 臨床研修病院の指導管理体制に関する事項

1) 研修を行うのに十分な症例や研修にふさわしい環境が整備されているか。

① 医療安全管理体制が適切に確保されている	3	4	0
② 検査・処置などが安全に実施出来ている	7	0	0
③ 研修医アンケートの「基本的な臨床検査・手技」について、23項目中(○:16以上の、△:4~15、×:3以下の)項目で自己評価がB以上である*	7	0	0
④ 同上「経験症例数」について、37項目中(○:22以上の、△:5~21、×:4以下の)項目で6例以上の経験がある*	6	1	0
⑤ 図書・雑誌・インターネット利用環境が整備されている	6	1	0

2) 研修医の診療内容や説明について、指導医等から適切な助言・指導が行われているか。

① 上級医の回診や症例検討会が定期的に行われている	7	0	0
② 指導医が適切に診療録を確認している	5	2	0
③ 診察の結果、適切な診断を行っている	7	0	0
④ 退院や退院後の方針の決定が適切になされている	6	1	0

3) 臨床研修が組織的・計画的に行われ、管理体制が適切に確立されているか。

① 研修管理委員会が適切に運営されている(省令の施行通知に定める研修管理委員会に関する要件を満たしている)	5	2	0
② 研修医の評価が、EPOCまたは到達目標の達成状況について指導医による評価が明示された書類を使って適切に行われている	6	1	0
③ 臨床研修病院群の中で、臨床研修に関する情報の共有等臨床研修に関して機能的な連携・調整が行われている	4	3	0

調査結果②(小項目) 評価(○/△/×)ごとの病院数

評価項目	○	△	×
------	---	---	---

2. 研修医の基本的診療能力に関する事項

1) 患者・家族や他の医療従事者と十分なコミュニケーションをとり、良好な関係を築いているか。

① 入院中の診察内容・診断について、患者・家族に適切に説明している	6	1	0
② 診療において、他の医療従事者と適切なチーム医療が出来ている	6	1	0
③ ハイリスクの治療・検査において「説明と同意」が行われたことを診療録に記載している	5	2	0

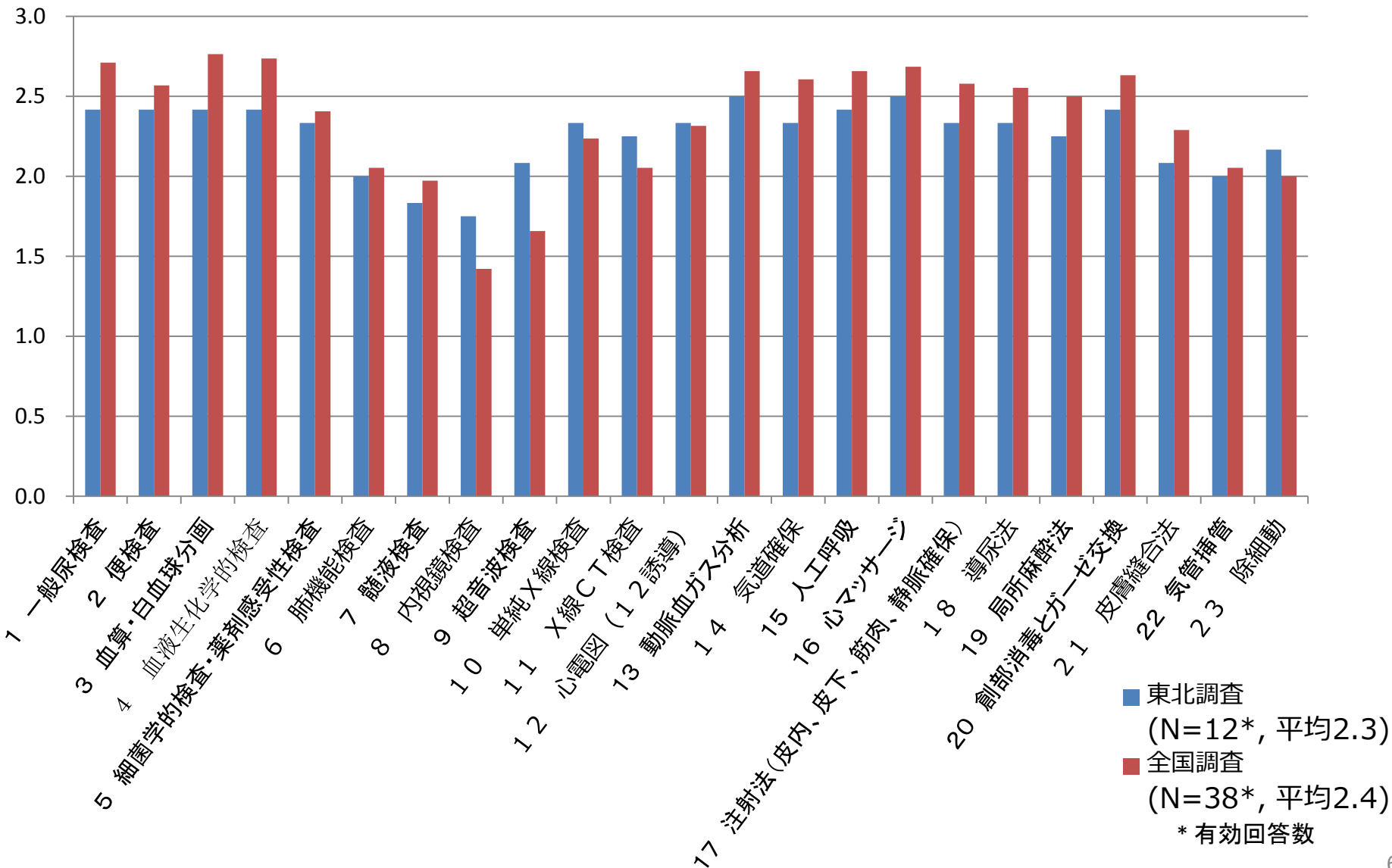
2) 患者の問題を把握し、検査や治療の計画の全体像を把握して診療にあたり、臨床上の疑問を解決するための自己学習の習慣が身についているか。

① 入院の目的を正しく理解している(研修インタビュー小項目1より記入)	7	0	0
② 診療録の記載が適切(現病歴・既往歴・家族歴や身体診察の所見等の基本情報が適切に記載されている)	7	0	0
③ 検査計画や治療計画が適切に立てられている	7	0	0
④ 退院時サマリーが適切に記載され、提出期限が守られている	7	0	0
⑤ 研修医が臨床上の疑問を解決するための情報収集方法を知っており、実践している	7	0	0

基本的な臨床検査・手技の習熟度についての自己評価

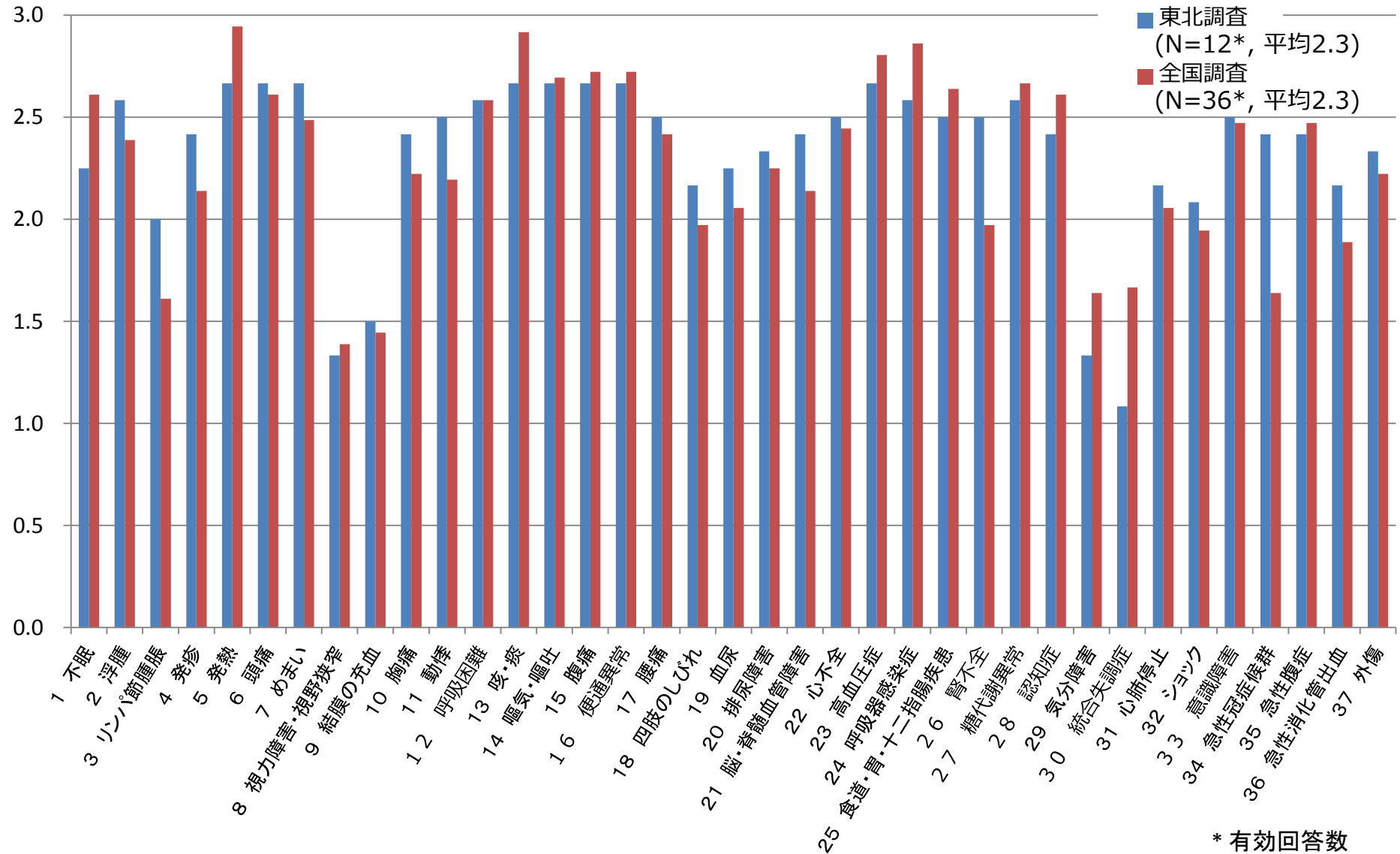
0: 「できない」、1: 「あまり自信がない、ひとりでは不安」

2: 「だいたいできる、たぶんできる」 3: 「確実にできる」としたときのアンケート回答者の平均値



経験症例数について

0: 「0例」、1: 「1-5例」、2: 「6-10例」、3: 「11例以上」
としたときのアンケート回答者の平均値



* 有効回答数